

51st

51年の経験と実績…郵船トラベル音楽の旅

添乗員同行

海外旅行
キャンセル保険付き!

音楽評論家 加藤浩子と行く 秋のイタリア名門歌劇場 & トスカーナ紀行9日間

2025年10月12日(日)～10月20日(月)

スカラ座でフローレス主演《連隊の娘》とエックバートの《リゴレット》を鑑賞!
初演の地フィレンツェでは新制作のヴェルディ《マクベス》を! 古都をめぐるトスカーナ紀行と
秋の味覚を満喫する、心に残るオペラと出会いの旅へ…!



ミラノ・スカラ座(イメージ)



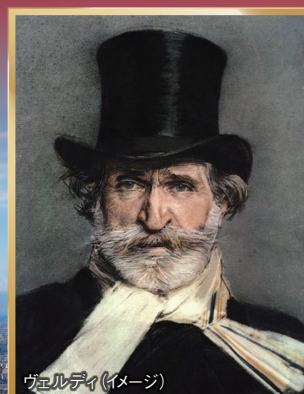
ベルガモ(イメージ)
※オプションツアーでご案内

世界
遺産



シエナ(イメージ)

世界
遺産



ヴェルディ(イメージ)



ドニゼッティ(イメージ)



世界
遺産

フィレンツェ(イメージ)

旅行企画・実施



日本郵船グループ

郵船トラベル株式会社

音楽評論家 加藤浩子と行く 秋のイタリア名門歌劇場 & トスカーナ紀行9日間

■募集型企画旅行期間と旅行代金(エコノミークラス利用・2名1室・大人・子供お1人様/単位:円)

2025年10月12日(日)～10月20日(月) **1,230,000円**

旅行代金には3公演の鑑賞チケット代が含まれております。

プレミアムエコノミークラスご利用代金	1,620,000円
ビジネスクラスご利用代金	1,950,000円

燃油サーチャージが別途必要となります。(目安80,200円:2025年5月13日現在)
※また、旅客保安サービス料、日本および現地空港諸税が必要となります。(裏面をご参照)

■1人部屋追加代金:235,000円(相部屋は承っております)

■食事回数:朝7回、昼3回、夕0回(機内食を除く)

■添乗員:成田空港出発時から、成田空港帰国時まで同行いたします。

■利用予定航空会社:スイスインターナショナルエアラインズ ■最少催行人員:10名様

お荷物無料宅配クーポン券付(往復)

※ご自宅～空港間のお荷物を無料で宅配できます。

(お1人様片道につき1個まで。離島および一部地域は対象外となります。)

スケジュール ◎は入場観光、○は下車観光

1 10/12 (日)	成田発(10:55)ヨーロッパ内乗り継ぎにて✈️フィレンツェへ。 フィレンツェ着(22:35) 着後、専用バスにてホテルへ(所要:約30分) ホテルにチェックイン。 フィレンツェ泊 機 機
2 10/13 (月)	9:00～15:30:シエナ観光(◎シエナ大聖堂、○カンポ広場など) ※ご昼食は地元のトラットリアでトスカーナ地方の郷土料理をお楽しみいただきます。 フィレンツェ泊 朝 昼
3 10/14 (火)	9:00～12:00:フィレンツェ市内観光(○ドゥオーモ、○ポンテ・ヴェッキオなど) [午後]ご自由にお過ごしいただきます。 ヴェルディ《マクベス》 〈フィレンツェ歌劇場〉20:00開演 フィレンツェ泊 朝 昼
4 10/15 (水)	8:00:専用バスにて、マントヴァへ。(所要約2時間30分) 11:30:マントヴァ観光(◎ドゥカーレ宮殿、○リゴレットの家など) 15:30:レストランにてご昼食後、ミラノへ(所要2時間30分) 18:00:ホテルにチェックイン。 ミラノ泊 朝 昼
5 10/16 (木)	9:00:ミラノ観光(◎スカラ座博物館、◎サン・マルコ教会、○ドゥオモなど) 11:30:ヴェルディが私財を投じて建てた「音楽家憩いの家」見学 15:00:ホテルへ。 ヴェルディ《リゴレット》 〈ミラノ・スカラ座〉20:00開演 ミラノ泊 朝 昼
6 10/17 (金)	ご自由にお過ごしいただきます。 [OP]ドニゼッティの故郷 ペルガモ観光(8:00～15:30/昼食つき) (◎ドニゼッティ博物館、◎ドニゼッティの生家、◎サンタ・マリ ア・マッジョレ教会など) ドニゼッティ《連隊の娘》 〈ミラノ・スカラ座〉20:00開演 ミラノ泊 朝 昼
7 10/18 (土)	[終日]ご自由にお過ごしいただきます。 [OP]コモ湖畔の名門5つ星ホテル Villa d'Este(ヴィラ・デステ)で愉しむ、優雅な昼食プラン(10:00～16:30) ミラノ泊 朝 昼
8 10/19 (日)	ホテルを出発、専用バスにて空港へ。(所要約1時間) ミラノ発(10:40)ヨーロッパ内乗り継ぎにて✈️帰国の途へ。 機中泊 朝 機
9 10/20 (月)	成田着(09:05) 着後、解散。おつかれさまでした。 機

※教会の入場拝観は、急な宗教行事や教会側の事情により入場できなくなる場合がございます。

※交通機関の都合や天候・現地事情により、旅程・発着時間・見学箇所・訪問順序が変更になる場合がございます。

※記載の指揮・出演者等は現段階での発表のものです。事前の予告なく出演者等が変更となる場合がございます。変更が生じた場合でも旅行代金の返金はいたしかねますので、予めご了承ください。

加藤浩子氏 プロフィール



(C) Tomoko Hidaki

慶応義塾大学大学院修了。同大学講師(音楽学)。
音楽評論家。著書:『バッハへの旅』(東京書籍)、『バッハ』、『ヴェルディ』、『音楽で楽しむ名画』、『オペラでわかるヨーロッパ史』(いずれも平凡社新書)、『さわりで覚えるバッハの名曲25選』(中経出版)、『バッハからの贈り物～鈴木雅明氏との対談』、『モーツァルト 愛の名曲20選』、『オペラ愛の名曲20+4選』(いずれも春秋社)他多数。その他、新聞・雑誌への寄稿、プログラム、CD解説等多数。

～ミラノ・スカラ座・フィレンツェ～

オペラファン憧れのスカラ座で、 スターが揃い踏みの《連隊の娘》《リゴレット》を鑑賞!

ミラノのスカラ座といえば、オペラファンなら一度は訪れてみたい劇場。簡素な外見とは裏腹に内部は宮殿のように豪華で、音響も素晴らしく、観客の雰囲気もシックで、別世界に浸れます。

もちろん、公演の内容はイタリア随一であり、世界トップクラス。得意のイタリア・オペラが充実しているのは当然ですが、近頃ではフランス・オペラやドイツ・オペラにも魅力的な演目と充実したキャストが揃うようになっています。

今回、スカラ座で観劇いただくのは、ドニゼッティの《連隊の娘》と、ヴェルディの《リゴレット》の傑作2本。どちらも垂涎のキャストです。《連隊の娘》には、本作のトニオ役でセンセーションを巻き起こしてきたベルカントテノールの大スター、ファン・ディエゴ・フロレスが登場! 超絶技巧やハイCを連発するアリアで会場を熱狂させたパワーは健在です。「今」のフロレスをぜひ味わいたいものです。

ヒロインのマリーには、フランスのリリック・コロラトゥーラ・ソプラノのスター、ジュリー・フックス。軽やかにして圧倒的な技巧とキラキラした存在感で魅了してくれることでしょう。シュルピス軍曹にイタリアの名ベルカント・バリトン、ピエトロ・スパニョーリ、そしてグラッケントルプ公爵夫人に大ベテランのバルバラ・フリトリというのも豪華です。

指揮はベルカントものに真価を発揮する名匠、エヴェリーノ・ビド。ヴィヴァイドで洗練された音楽作りで、ドニゼッティのオペラ・コミックの魅力を再発見させてくれるはず。メトロポリタンオペラやロイヤルオペラでもお馴染みの、ロラン・ベリーの痛快無比の演出もお楽しみください。



もう一つの演目《リゴレット》では、アマルトゥップシン・エックバートの歌うリゴレットが聴きものです。エックバートはモンゴル出身のバリトンで、際立った声量と力強い美声、美しいレガートで、ヴェルディの諸役に引っ張りだこ。今回の《リゴレット》が新制作(2022年)された時も主役を歌い、絶賛されています。これからのヴェルディを担うスターにご期待ください。

マントヴァ公爵役にはテノールの大スターで、先日日本でのリサイタルが大成功だったヴィットーリオ・グリゴロ、ジルダにはスイス出身のチャームिंगなリリック・ソプラノ、レギュラ・ミューレマン。澄んだ声には銀色の月のような魅力が宿ります。指揮にはオペラの呼吸を知り尽くす名指揮者、マルコ・アルミリアートが当たります。

マリオ・マルターネの演出は時代を現代に置き換え、《リゴレット》を私たちに身近に感じられる物語にしています。最後のどんでん返しにもご期待ください。



ミラノ・スカラ座 (イメージ)



コモ湖 ヴィラデステ(イメージ)
※オプションツアーでご案内

秋のイタリアを満喫するオペラの旅!「秋のイタリア名門歌劇場&トスカーナ紀行」へのお誘い……………案内人・加藤浩子

コロナ禍から5年。ようやく、企画同行させていただくオペラの旅が本格的に復活します。第1弾は「秋のイタリア名門歌劇場&トスカーナ紀行」。オペラファンなら一度は訪れたいミラノ・スカラ座の目玉公演《リゴレット》《連隊の娘》、フィレンツェ歌劇場での《マクベス》という3つのオペラ鑑賞を中心に、シエナ、フィレンツェ、マントヴァなど、イタリア魅力的な古都巡りを盛り込みました。オペラと「旅」を満喫していただける内容になったのではないかと自負しております。

加藤浩子氏のオペラ関連書籍をプレゼント!

『ヴェルディ』『オペラで楽しむヨーロッパ史』など幾つかの著書からお選びいただけます。



エで傑作オペラを堪能! 芸術と美食、秋色の古都をめぐる至福のイタリアの旅〜

フィレンツェ歌劇場で《マクベス》(新制作)を鑑賞!

花の都といえば、フィレンツェ。ルネッサンスの首都は、今も昔も観光客で賑わっています。フィレンツェは、実はオペラ誕生の地でもあります。ヴェルディの《マクベス》は、その都で初演されたオペラの一つ。シェイクスピアの名作を、ヴェルディの力強い冒険的な音楽が引き締め、オペラ史上に残る傑作の一つが生まれました。

今回の旅では、その《マクベス》を、初演地のフィレンツェで楽しみいただけます。主役のマクベスを歌うのは、イタリアを代表する名バリトン、ルカ・サルシ。ノーブルで豊かな声はヴェルディに理想的で、スカラ座のオープニング公演の常連です。難役のマクベス夫人を歌うのは、アメリカのソプラノ、ヴァネッサ・ゴイコエチエア。輝かしくよく通る声とドラマティックな表現力が評価され、トスカ役などで成功を取っています。甘く明るい声と力強いフレージングを併せ持つイタリアの名テノール、アントニオ・ボーリがマクダフを歌うのも楽しみです。

指揮はメトロポリタンオペラをはじめ世界で活躍するアレクサンダー・ソディ。先日でもメトで《アイダ》を指揮、本作にある大胆さと繊細さを巧みに表現し《アイダ》という作品の本質を引き出して絶賛されていました。ヴェルディの劇的な音楽をシャープにスマートに聴かせてくれることでしょう。

《マクベス》は今回が新制作。演出のマリオ・マルトーネは、作品から現代に通じるメッセージをあぶり出す才人です。この野心的な作品をどう見せてくれるのか、興味は尽きません。



フィレンツェ、シエナ、マントヴァ、ベルガモ、コモ湖… 秋のイタリアで歴史ある都市巡りを満喫!

今回の旅では、「秋のイタリア」を味わっていただくこともテーマにしています。フィレンツェはもちろん、トスカーナを代表する古都シエナ、《リゴレット》の舞台にもなったマントヴァ、ドニゼッティの故郷ベルガモやコモ湖(オプショナルツアー)など、個性豊かな街々を巡ります。土地土地の美味も堪能ください。

「オペラ」と「街」の魅力がいっぱいのイタリアの旅。しかもベストシーズンの10月です。現地でもしか体験できない「声」と「空気」を、たっぷり堪能していただけることと思います。ホテルも、街中の快適なホテルをご用意いたしました。ご参加を心よりお待ちしております。

下記3公演の鑑賞チケット代が旅行代金に含まれます。

フィレンツェ歌劇場

ヴェルディ《マクベス》—新制作—

◆指揮:A.ソディ ◆演出:M.マルトーネ
◆出演予定:L.サルシ、V.ゴイコエチエア、A.ディ・マッテオ、A.ボーリほか
10月14日(火) / 20:00開演

ミラノ・スカラ座

ヴェルディ《リゴレット》

◆指揮:M.アルミリアート ◆演出:M.マルトーネ
◆出演予定:A.エックバート、V.グリゴロ、R.ミュレマン、M.ベッリほか
10月16日(木) / 20:00開演

ミラノ・スカラ座

ドニゼッティ《連隊の娘》

◆指揮:E.ビド ◆演出:L.ペリー ◆出演予定:J.D.フロレス、J.フックス、P.スバニョーリ、B.フリットリほか
10月17日(金) / 20:00開演

※本公演は(初日公演)という非常に人気の高い日程のため、お二人でご参加の場合でも、座席が離れる可能性がございます。また、ご用意する座席は、複数のカテゴリー(等級)にまたがる場合がございます。

別手配鑑賞公演(別料金)

ミラノ・スカラ座管弦楽団&合唱団コンサート

◆指揮:R.シャイー ◆ソリスト:C.カルク、C.マルトマン
◆曲目:シェーンベルク《ワルシャワの生き残りOp.46》
マーラー《リュッケルト歌曲集》
J.S.バッハ《6声のリチェルカーレ》(ヴェーベルン編曲)
シェーンベルク《管弦楽のための変奏曲 Op.31》
ミラノ・スカラ座 / 10月18日(土) 20:00開演

魅力あふれるトスカーナの街、シエナやフィレンツェ、マントヴァおよびミラノの観光や散策もお楽しみいただけます。



フィレンツェ



マントヴァ



ベルガモ



ミラノ



※オプショナルツアーでご案内

◀ドゥオモ(右)
音楽家
憩いの家(左)

